

年 組 () 名前

サイン

◆イタリア北部のミラノで「食」をテーマにミラノ万博が開かれています。そこで、日本の伝統的な食文化を紹介する「日本館」が大人気で、入館するために8時間も待つこともあるそうです。

(2015年10月22日 読売新聞朝刊より)

【1】ミラノ万博が5月に開幕してから、入場者数は全体でどのくらいでしょうか。うち、日本館を訪れた人はどのくらいでしょうか。

▼総入場者数 =

--	--	--	--

 万人超

▼日本館 =

--	--	--

 万人突破

【2】日本館の行列待ちは評判になっているそうです。入館待ち時間は6月、9月、10月とどのように変わったのでしょうか。

【3】日本館はどのような展示をして、人気を集めていますか。

「日本館」8時間待ち

来場200万人突破

【ローマ】青木佐知子

イタリア北部ミラノで「食」をテーマに開かれているミラノ万博で、日本の伝統的な食文化を紹介する「日本館」が大盛況だ。ふだんは行列が苦手とされるイタリア人が8時間も並ぶことがあり、伊メディアは「最も人気のある展示館で、入場は『かなわぬ夢』だ」と報じている。

約150の国と地域、国際機関が参加するミラノ万博では、10月末の閉幕を目前に「駆け込み」の入場者が急増している。5月に万博が開幕してからの日本館の来場者数は19日に200

ミラノ万博 和食紹介で盛況



万人を突破した。来場者のおよそ1割が日本館を訪れた計算になる。日本館は「一汁三菜」な

21日、「日本館」に入場するため長い列をつくる人たち(伊北部ミラノで)

どの伝統的な食文化や日本の農村風景などを、映像やデジタル技術を駆使して紹介している。約50分の「食を巡る旅」として、グループごとに案内するため、1日に約2万人しか入場できない。同館担当者は「お箸でタッチスクリーンを操作し、自分用の和食の献立をつくるなど体験型の展示が人気だ」と話す。開幕以来、日本館の行列は評判となっており、6月の2時間待ちが、9月には6時間にまで伸びた。万博全体の入場者数も今月10日に1日あたりで最多の27万2785人を記録し、総入場者数が1900万人を超えた。

【4】和食のほか、ラグビーやノーベル賞など、日本に世界の注目が集まることが多くなっています。どんな理由からだと思いますか。裏に書き出してみましょう。

【発展学習】日本で初めて開かれた万博は1970年の「大阪万博」です。そのほか、どんな万博を知っていますか。

年 組 () 名前

サイン

◆小学校新聞部の「いろは」と「あらた」が話題になった言葉を取り上げて語り合うシリーズです。今回は「ひきや 曳屋」です。

いろは 青森県弘前市にある弘前城の天守が、そのまま建物ごと引っ越したと聞きました。本当そんなことができるの？
あらた 本当さ。建物を解体せず、別の場所に移動させる「曳屋」と呼ばれる作業を行っているんだ。曳屋は「曳家」とも書くね。いろは 曳屋はどのいう時に行われるの？
あらた 道路の幅を広げるため、建物の位置をずらしたい時などに行う。家やビルなど、様々なものを動かせるん

【曳屋】

【1】「ひきや」を書いてみましょう。

Blank writing area for question 1.

【2】曳屋とは、どういう作業のことですか。

Blank writing area for question 2.

【3】どう理由で、弘前城の天守を移動させているのですか。

Blank writing area for question 3.

【4】曳屋の伝統技術を守るために、どうしたらいいと思いますか。

Blank writing area for question 4.



弘前城の天守を綱で引いて曳屋を体験した市民ら(9月20日)

建物を解体せずに移動

だよ。弘前城の場合は、天守の下石垣を修理するために行われている。天守を元の場所から約70メートル、修理後の2021年頃に元の場所に戻す予定だ。
いろは どうやって動かしたのかしら。
あらた 天守は3階建てで、高さ約14メートル、重さ約400トンもある。これをジャッキで持ち上げて台車に載せ、レールの上を少しずつ移動させた。8月中旬から作業が始まると、物珍しさもあって観光客が増え、にぎわったそうだよ。今月17日に移動は完了し、後は天守を仮天守台におろす作業を待つばかりだ。
いろは 重い建物を壊さずそのまま運べるなんて、すごいね。
あらた 古い建物を守っていく上で、曳屋は大切な伝統技術だと思うよ。

(2015年10月21日 読売新聞朝刊より)

サイン

年 組 () 名前

総務省は19日、携帯電話料金の引き下げ策を議論する有識者検討会の初会合を開いた。12月に報告書をまとめて、大手携帯電話会社に料金プランの見直しなどの対応を促し、家計の負担軽減につなげたい考えだ。料金は携帯電話が自由に決められることになっているものの、携帯各社は一層の料金引き下げを求められることになる。

有識者検討会では、通話時間やデータ通信量が少な

携帯料金下げ議論開始

◆総務省は、携帯電話料金の引き下げ策を議論するため、有識者による検討会を始めました。家計に占める携帯料金の割合が増えているためです。

プランの見直し

長期利用に配慮

格安スマホ普及

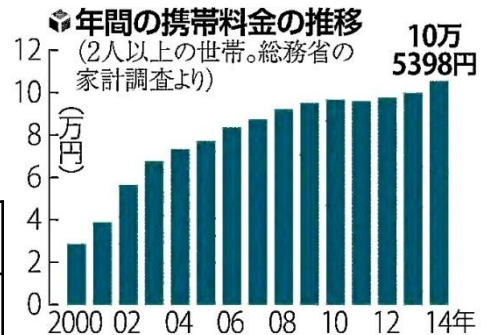
有識者検討会

◆携帯電話料金引き下げを巡る主な論点

	現状	今後の焦点
料金の多様化	大手3社の一般的なスマートフォンプランは最低2ギガから	通話やデータ通信の利用が少ない人を対象とした割安な料金プランの導入
販売方法の複雑化	携帯電話の端末を買い替える利用者を優遇	長期間買い替えない利用者へのサービス拡充
格安通信サービスの普及	昨年4月頃から格安スマホや格安SIMの新規参入が拡大	格安スマホのさらなる普及策の検討

い利用者、端末を長期間買い替えない利用者などに配慮した料金プランなどについて議論する。端末の値引き競争の見直し策や格安スマートフォンへの普及策などについても検討する。

(2015年10月19日 読売新聞夕刊より)



【1】検討会では、とくにどういった問題を話し合うことになっていますか。3つ書き出してみましよう。

【2】2014年1年間に2人以上の世帯(家庭)が払った携帯料金は、2000年と比べて約何倍になったでしょうか。棒グラフを見て答えなさい

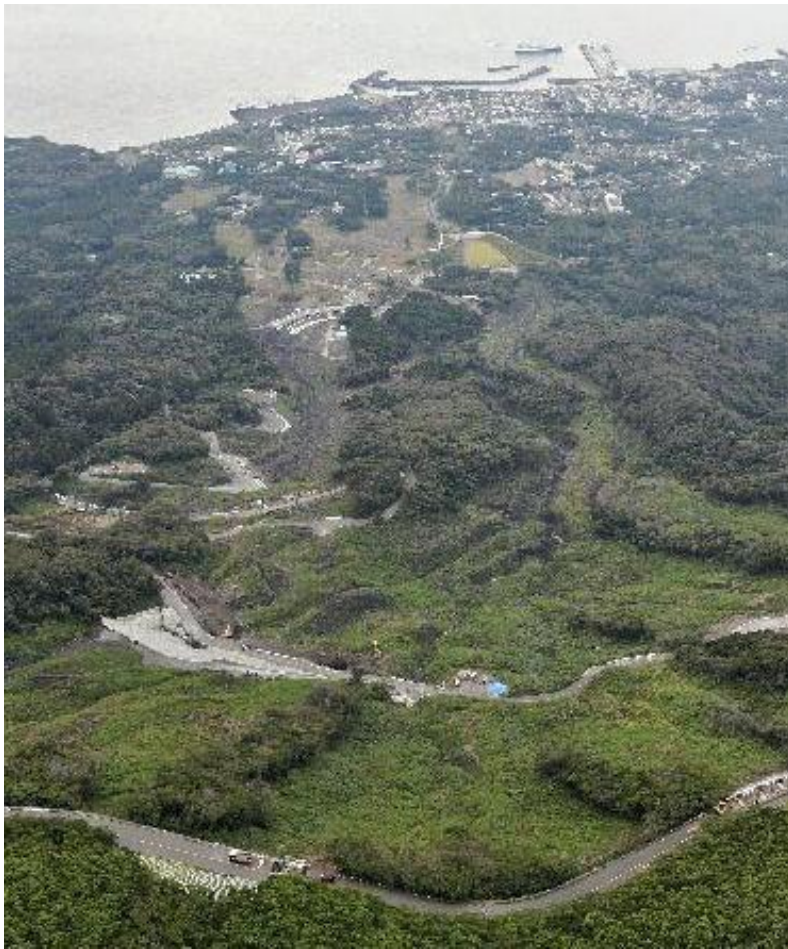
--

【3】あなたが、この検討会の委員だったら、どのような提案をしますか。考えを書いてみましょう。

年 組 () 名前

サイン

Scars begin to heal



(2015年10月17日 THE JAPAN NEWSより)



Yomiuri Shimbun photos

An aerial photo, left, taken on October 15 in the town of Oshima, Tokyo, shows a landslide-hit mountainside with plants and trees growing back as road restoration progresses. In the aerial photo, above, taken in October 2013, the bare mountainside can be seen. October 16 marked the second anniversary of the landslide on Izu Oshima island which left 39 people dead or missing.

◆死者・行方不明者39人を出した伊豆大島(東京都大島町)の土石流(地滑り)災害から16日で2年がたちました。

【1】2枚の航空写真は、どこを撮影したものでしょうか。記事から抜き出しましょう。

市 町 村	都 道 府 県
the town of _____,	

【2】土石流(地滑り)を英語で書きましょう。

(_____)

【3】左の航空写真が撮影された翌日のOctober 16は、どのような日でしょうか? 記事から抜き出して英語で答えましょう。

scars: きずあと、heal: いえる、aerial photo: 航空写真、mountainside: 山腹、restoration: 復旧作業、bare: むき出しになった、second anniversary: 2年目の日、people dead or missing: 死者・行方不明者

年 組 () 名前

サイン

新聞記事で日本一周！

手元に新聞を用意して取り組みましょう。

月 日付

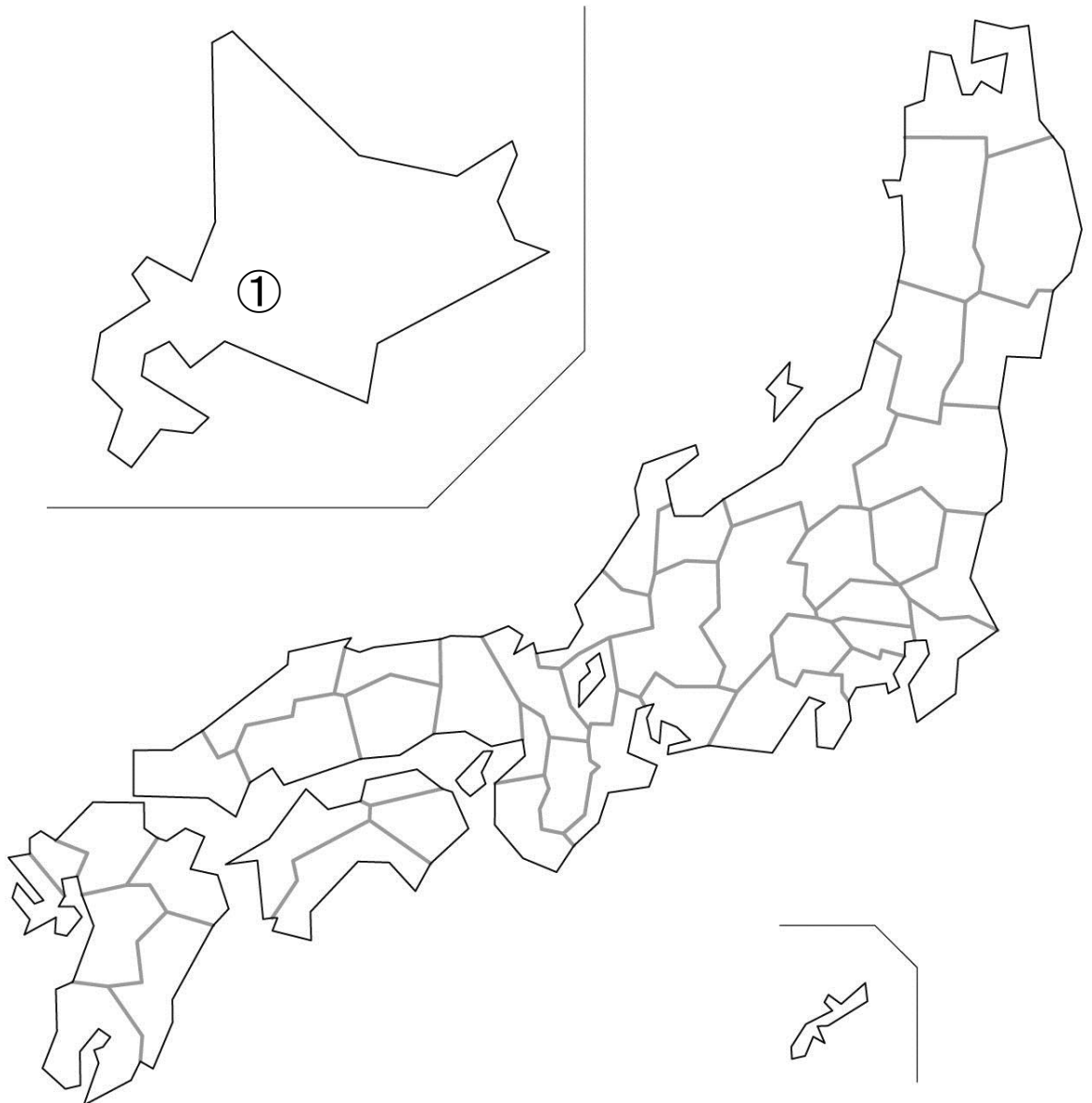
新聞 (朝刊・夕刊)

面

◆新聞には、多くの地名が出てきます。なるべく、たくさん探してみよう。新聞で日本一周をめざしてください。

新聞から、たくさんの市町村の名前を見つけて、書き出してみよう。また、その市町村がある都道府県をさがして、例のように番号を下の白地図に書きこみましょう。

①	札幌市
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	
⑬	
⑭	
⑮	



先生各位

中学・高校教師1000人が選ぶ

第2回「君に贈る本大賞」アンケートご協力をお願い

2014年11月創刊の「読売中高生新聞」では、中高生と「生涯の1冊」の出会いを支援しようと、「中高生に本当に読んでもらいたい本」を決める新しい本の賞を創りました。決めるのは全国の中学校・高等学校に勤務する先生方で、昨年は全国約850人もの先生方にご協力いただきました。本当にありがとうございました。なお、アンケート結果や協力学校名は紙面でご報告させていただきました。大変ご好評につき、今年も、朝の読書推進協議会様、全国学校図書館協議会様、トーハン様の特別協力をいただいてアンケートを行います。結果は2016年3月頃に総合ランキングと協力校一覧を、4月以降に各教科ごとのランキングなどを、紙面で発表したいと思います。お寄せいただいたコメントも、なるべく多くご紹介したいと思います。

第2回テーマは「中高生に勧めたい『泣ける本』」です。

泣けるといっても悲しいだけでなく、「心が震える」「笑いすぎて泣ける」など、幅広く解釈いただいて結構です。小説、マンガなどジャンルも問いません！ つきましては、アンケート用紙に、オススメの1冊をご記入いただけると幸いです。その際、昨年の第1回（テーマ無し）で選ばれた上位5冊 = 『こころ』（夏目漱石）・『永遠の0』（百田尚樹）・『竜馬がゆく』（司馬遼太郎）・『博士の愛した数式』（小川洋子）・『夜のピクニック』（恩田陸）はのぞかせていただきます。

応募資格は、全国の中学・高校の先生で、学校図書館司書の方の応募も大歓迎です。応募は大変お手数ですが、FAX でお願ひします。送付先は03-5200-1818です。なお、勝手ながら期日は2015年12月31日とさせていただきます。

氏名欄、学校名欄の「実名可否」は、紙面での実名・匿名掲載の判断にさせていただきますので、「可」「否」いずれかに○をつけて下さい。どちらか一方だけ公表でも構いません。役職欄は、副校長、教務主任、司書教諭などの役職をお書き下さい。年齢については、紙面にコメントを掲載する際や、年代別ランキングの集計に使用します。個人情報利用は、利用目的の範囲内で適正に行い、利用目的の範囲を超えて利用する場合は、事前に本人の同意を得ることとします。

「先生が選ぶ本の大賞」はこれまでないものです。ご参加いただける先生の数が多ければ多いほど知名度も上がり、本屋さんでフェアなどが行われるかもしれません。お忙しい中で恐縮ですが、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

【担当】読売新聞東京本社 中高生新聞編集室 小林佑基・増田知基

TEL03-3217-8255、メール yuki0024@yomiuri.com (小林)

【読売中高生新聞「キミに贈る本大賞」アンケート回答用紙】

氏名 _____ (実名 可 or 否) 性別 男 or 女 年齢 _____

学校名 _____ (実名 可 or 否) 担当教科 _____ 担当部活 _____

役職(複数可) _____ 連絡先電話番号 _____

～ 中高生に勧めたい 『泣ける1冊』 ～

宛先 FAX 03-5200-1818

	タイトル	著者名	コメント

※第1回の上位5冊『ころ』(夏目漱石)、『永遠の0』(百田尚樹)、『竜馬がゆく』(司馬遼太郎)、『博士の愛した数式』(小川洋子)、『夜のピクニック』(恩田陸)はのぞきます。

主権者 教育セミナー 参加者募集

選挙権年齢を18歳以上に引き下げる公職選挙法が
来年夏の参院選から適用され、高校生の有権者が誕生します。
高校はもとより小中学校でも政治参加を促す教育が重要になります。
生徒・児童を社会参画へ導く主権者教育のあり方を、
参加者の皆様とともに考えます。
セミナーでは、シティズンシップ教育の海外事情を紹介し、
国内で行われている先進的な主権者教育の模擬授業を
参加者に体験・見学していただきます。
また、副教材や政治的中立性などに関する
文部科学省担当者による解説も
予定しています。



2015.11.29 SUN
13:00~16:00

- 講演** 「シティズンシップ教育の意義と海外事例など」 小玉 重夫 (東京大学教育学部教授)
「副教材の狙いと政治的中立性などに関する新通知の解説」 合田 哲雄 (文部科学省教育課程課長)
- 模擬授業** 「玉川学園で実践している主権者教育の模擬授業」 硯合 宗隆 (玉川学園教諭)



小玉 重夫 こだま しげお
1960年生まれ。東大法学部政治コース卒、同大学院教育学
研究科博士課程修了。お茶の水女子大学大学院人間文化創
成科学研究科教授などを経て、東大大学院教育学研究科教
授。専門は、教育哲学、アメリカ教育思想、戦後日本の教育思
想史。シティズンシップ教育の思想と歴史を研究し、総務省に
よって設置された「常時啓発事業のあり方等研究会」の委員
として18歳選挙権実現に尽力した。



硯合 宗隆 そあいむねたか
1971年生まれ。玉川大卒、玉川学園勤務。カナダ・トロント大オ
ンタリオ教育研究所教育学修士。2003年衆院選から授業で
未成年模擬選挙を実施。2008年米大統領模擬選挙視察。
2011年「つながる、つなげる模擬選挙」の実践で第6回マニ
フェスト大賞優秀マニフェスト推進賞を団体受賞。町田市明推
協委員。未来を拓く模擬選挙編集委員会「実践シティズンシ
ップ教育 未来を拓く模擬選挙」(悠光堂)などで活動を紹介。

- ◆場 所 東京都千代田区大手町1-7-1 読売新聞東京本社内会議室
◆対 象 教育関係者および関心のある参加希望者 ◆参加費 無料
◆申込方法 はがきに①～⑥を記入し、下記へ郵送してください。

①氏名(ふりがな) ②年齢 ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号(日中連絡可能) ⑥勤務先名称
宛先：〒100-8055 読売教育ネットワーク事務局「主権者教育セミナー」係

- ◆締め切り 11月6日(消印有効)。申し込み多数の場合は抽選。
参加いただく方には、聴講券としてはがきを送ります。セミナー当日お持ちください。



次回以降の
セミナー予定

2016年1月24日(日)◆「主権者教育セミナー」
2月27日(土)◆「主権者教育をテーマにした新聞活用教育(NIE)セミナー」

詳細は読売新聞紙上とウェブサイト
<http://kyoiku.yomiuri.co.jp/>

お問い合わせ

読売新聞東京本社 教育ネットワーク事務局 ☎03-3217-1967 (平日午前10時～午後5時)

読売新聞